

JADPA



NPO法人日本アトピー協会



発行：NPO法人 日本アトピー協会 〒541-0045 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階 電話:06-6204-0002 FAX:06-6204-0052  
Eメール: jadpa@wing.ocn.ne.jp ホームページ: http://www.nihonatopy.join-us.jp/

CONTENTS

- ◆「アトピー・アレルギー」様々な調査結果から…………… P1～P5
  - ◆学校におけるアレルギー患者数…………… P1
  - ◆アトピー患者さん診療・治療調査…………… P2
  - ◆ドクターとのコミュニケーション調査…………… P2
  - ◆20代・30代女性患者さんの悩み調査…………… P3
  - ◆協会への相談内容…………… P3
- ◆平成30年11月12日「いい皮膚の日」市民講座…………… P4～5
- ◆ハニー!アトピーづき合い40年の友実です…………… P6  
(フリーアナウンサー関根友実さん・第40回)
- ◆ちょっと気になるニュース…………… P6  
患者が好む「医師の服装」は?!
- ◆支援活動報告 第2報 北海道胆振東部地震 震災支援のご報告 P7
- ◆ATOPICS…………… P8
  - ◆恒例 秋のリクレーションに行ってきました!
  - ◆大阪府立羽曳野支援学校様への寄贈のご報告
- ◆法人賛助会員様ご紹介 第46回…………… P8

「アトピー・アレルギー」様々な調査結果から

11月12日は「いい皮膚の日」です。毎年恒例、全国で様々な市民講座や相談会が開催されます。参加は全て無料ですから、ぜひご参加ください。詳細は、小紙P4～5に記載しております。今回は、様々な調査結果から見えてくる患者さん方の日常についてまとめてみました。

学校におけるアレルギー患者数

子どものアレルギー有病率

平成16年5月1日現在、全国の公立小学校・中学校・高校・中等教育学校に在籍する生徒12,773,554人に対する調査から。

疾病名	有病率	男子	女子	有病数
ぜん息	5.7%	6.8%	4.6%	730,466人
アトピー性皮膚炎	5.5%	5.6%	5.4%	699,086人
アレルギー性鼻炎	9.2%	10.8%	7.6%	1,180,749人
アレルギー性結膜炎	3.5%	3.7%	3.2%	442,419人
食物アレルギー	2.6%	2.7%	2.5%	329,423人
アナフィラキシー	0.14%	0.1%	0.12%	18,323人

- ぜん息の有病率では、男子は女子の約1.5倍。  
アレルギー性鼻炎では、男子は女子の約1.4倍。  
アレルギー性鼻炎でも、男子は女子の約1.4倍となっており、3疾病とも男子の方が多い結果となっています。
- アトピー性皮膚炎  
都道府県別の有病率は、小学生から高校生まで沖縄県が最も低く、高い都道府県は、小学生では鳥取県10.8%・島根県9.3%・宮城県9.2% 中学生では、宮城県と愛知県7.2%・奈良県7% 高校生

では、岡山県7%・北海道6.2%となっています。

- 食物アレルギー  
都道府県別では、小学生・中学生ともに北海道・岐阜県・兵庫県順で有病率が高く、高校生では北海道・京都府・兵庫県の順で高くなっています。
- アナフィラキシー  
有病者数が少ないため、この結果が有意であるかは十分な検討を要するとされています。

【出典：アレルギー疾患に関する調査研究報告書 平成19年3月  
「アレルギー疾患に関する調査研究委員会」より

アトピー性皮膚炎の悪化要因

平成19年11月、幼稚園・小学校・中学校・高校の養護教諭10名と大学2校の看護師2名による『アトピー性皮膚炎の症状を誘発・悪化させる要因についての面接聞き取り調査』から。

幼稚園では「水・砂・泥遊び、石けん、シャンプー、リンス、食べ物、ハウスダスト、ダニ」という結果になっています。

小学校では「食べ物、ハウスダスト、動物、発汗、皮膚の乾燥」、中学校では「ストレス、睡眠不足、発汗、皮膚の乾燥」

高校では「家庭の生活レベル、気力・体力の落ちる時」  
大学では「生活リズムの乱れ、食生活の乱れ(コンビニ弁当やお菓子)、飲酒、喫煙、入浴方法の変化(ボディソープの大量使用、シャワー浴)」など、ひとり暮らしによる生活環境の変化も影響を与えているようです。

また、別の調査結果では、アトピーの悪化要因として、小・中学生ともに「汗」が多く、それぞれ78.2%～73.9%でした。小学生では「土・泥・ほこり=48.7%」「プール・教室内の乾燥=33.3%」「教室内の暖房=24.4%」「ストレス=20.5%」となっています。

中学生では「日光=34%」「土・泥・ほこり=26.1%」「不規則な生活・体育着(ジャージ)=19.6%」「制服=17.4%」でした。また、幼稚園や小学校ではみられなかった「ストレス、睡眠不足」が中学校や高校ではみられるようになり、成長が進むにつれて「生活リズムの乱れ」がある

患者さんからのご相談はいつでもお受けします。

症状がいつに改善されず長びく治療にイライラが募り先行きを悲観…ちょっと待った!全国約600万人(※)の方があなたと同じ悩みをかかえています。ここはみんなで「連帯」し、ささえあいましょう。日本アトピー協会をそのコア=核としてご利用ください。

※H12～14年度厚生労働科学研究によるアトピー性皮膚炎疫学調査より推計。

電話：06-6204-0002 FAX：06-6204-0052  
メール：jadpa@wing.ocn.ne.jp

お手紙は表紙タイトルの住所まで、なおご相談は出来るだけ文面にしてお願いします。電話の場合はあらかじめ要点をメモにしてすみじかをお願いします。(ご相談は無料です。)

◆協会は法人企業各社のご賛助で運営しております。 ◆患者さんやそのご家族からのご相談は全て無料で行ってまいります。

という指摘もされています。特に大学生では、居住地の変化や食生活の乱れ、飲酒・喫煙習慣、自己管理不十分、部屋の不衛生など、アトピーの要因が多様化していることがわかりました。

さらに、別の中学生を対象としたアンケート調査では、アレルギー疾患の悪化要因として、「環境=63.8%」「ストレス=41.7%」「食事=27.5%」で、外的要因と内的要因があげられていることがわかりました。

【出典：北海道教育大学紀要教育科学編第60巻第1号平成21年8月】  
「アトピー性皮膚炎児の学校生活における現状と課題」より

### ----- アトピー性皮膚炎への配慮 -----

学校での様々な配慮についての調査結果です。やはりスキンケアに関する配慮・対応は低いようです。

アレルギー疾患児への配慮	全体	小学校	中学校	高校	中・高一貫校
体育授業や運動会	46.2%	42.9%	46.6%	64.3%	
温水シャワー浴設備	14.8%	20%	7.4%	4.3%	
掃除・飼育当番等	19.8%	28%	8.1%	3.9%	
郊外学習環境	30.9%	30.9%	32.6%	26.8%	57.1%
修学旅行環境	47.9%	44.4%	51.1%	59.1%	57.1%
薬の保管場所 スキンケア場所	18%	20.8%	14.2%	11.9%	

飲み薬や塗り薬は医薬品です。またエピペン(アドレナリン自己注射薬)の持参・保管についても、学校とは事前に相談しておくことが肝要です。また保湿剤の塗布については、自分でケアしない限り医療行為と判断されるケースもあり、同様に学校側や学校保健師の先生としっかり相談しておくことも大切です。

【出典：アレルギー疾患に関する調査研究報告書 平成19年3月】  
「アレルギー疾患に関する調査研究委員会」より

## アトピー患者さん診療・治療調査

### ----- 診療状況や医療への要望 -----

全国11大学病院を初診したアトピー性皮膚炎患者さん530人の調査では、78%の患者さんが病院を替えた経験があり、その結果として35%の患者さんが様々な民間療法を取り入れている。また、癬で知らないうちに掻くことがあるという患者さんが40%いることもわかりました。

そして、1年後の調査で、530人中284人からの回答では、「アトピー性皮膚炎治療ガイドライン」に沿う治療法により、「大変満足」「満足」が計50%、「やや満足」まで含めると77.8%と高い満足度が得られていました。また、「ステロイド外用薬に対する恐怖が前回より減った」とする率は63.3%で、「アトピー最大の原因をアレルギー」と答えた方が28.2%でした。

癬で掻くことへの自覚は53.9%でみられ、治療とともに減少したのは46.7%でした。ただし、変わらない人も46.1%いました。

「アトピーでストレスを感じる」率は第1回目の調査58.6%のうち63.8%は治療中に減少したとしています。今後医療サイドに求めることは、「より効果の高い治療法」が55.4%と最も高く、「医療サイドとの対話=30.5%」「精神的ケア=10.4%」と、治療以外への要望も高いという結果でした。

【出典：アトピー性皮膚炎児の診療に対する患者の認識についてのアンケート調査 第1報・2報/臨床皮膚科 平成13年・14年】

なお、東邦大学医療センター大橋病院皮膚科の向井秀樹医師らによる平成19年～22年に入院加療した20歳以上のアトピー性皮膚炎患者さん105人によるアンケート調査では、退院時に「極めて改善」「かなり改善」した人が計83%でした。ただし、退院後の現在、皮膚症状が不安定な人は53%と半数以上にのぼり、入院前のように良くない状態に戻ってしまった患者さんも7%いました。

### ----- アトピー性皮膚炎の精神的負担 -----

厚生労働省の平成26年「患者調査」によるとアトピー性皮膚炎患者さんの64%は20歳以上とされており、そのうち約6割の患者さんがステロイド忌避の感情を持っているとのこと。また、九州大学大学院体表感知学講座准教授の中原剛士先生による「疾患負担と治療満足度に関する横断研究」300例の結果では、治療薬に関する総合満足度は「満足」「とても満足」「極めて満足」を合わせても30%にとどまり、精神的負担の大きさがみられます。

生活の質(QOL)についても、「非常に影響がある」と回答した人が35%で、「やや影響がある」も含めると計85.7%の人に影響があるという結果に。また、精神面への影響については、「死んでしまいたい」と思ったことがある人が13%、「非常に影響がある」「やや影響があ

る」も含めると計79.4%の人が生活の質に影響があると回答しています。

また、治療費については、「アレルギー疾患対策の推進に関する基本的指針 暫定版(厚生労働省)」に、アトピー患者さんが外来受診でかかる直接医療費は、男女ともに4,820円/人/日でした。

日本でアトピー性皮膚炎の年間外来患者数は推計893,075人。診療総額は77,662,651,619円。薬剤処方費15,395,884,522円。ちょっと桁数が分からない金額ですね。毎月の治療費も精神的な負担の要因になっているのかもしれない。

### ----- 学業や日常行動への影響 -----

皮膚アレルギー疾患を有する中学・高校受験生の子どもを持つ母親310人への調査から、皮膚アレルギー疾患と痒みが勉強に与える影響があると答えた人の86.3%が「集中力・判断力の低下」、「イライラする=64.2%」「学習能率の低下=38.7%」と答えています。そして、「痒みによってお子さんの成績が下がったと思うことがある」と答えた人が31.4%おられました。また、16歳以上のアトピー患者さん559人への調査では、アトピーにより影響を受ける日常的な行動は、「衣服の選択に制限=35%」、「ひげそり・メイクアップの制限=32%」、「自由に行動することの制限=21%」、「集団で行動することが気まずい=18%」、「個人的な関係に満足できない=16%」などでした。

【出典：疾病負担から考えるアトピー性皮膚炎の適切な治療の重要性 (サノフィ株式会社) 平成29年12月より

また、別のアトピー患者さんへの調査では、アトピーによる学業・職業への支障として、以下のような結果が出ていました。

※全体の83.9%がステロイドや免疫抑制剤プロトピック未使用者。

	はい	いいえ	不明
進級・進学出来なかった事がある	70人	816人	79人
休学・退学した事がある	91人	839人	36人
就職出来なかった事がある	166人	594人	100人
休職・退職した事がある	335人	438人	1人

また、全患者さんの3分の1が1か月以上の引きこもりを経験しており、長くなれば年単位で引きこもってしまうケースも全体の5%を占めていました。なお、335人の休職・退職の経験者の約半数は退職経験者でした。

【出典：平成19年高木基金助成報告集「アトピー性皮膚炎の成人患者 支援スキームづくりのための基礎研究」/安藤直子他より

### ----- ステロイド外用剤の意識調査 -----

東京医科大学の皮膚科外来を受診した初診患者さん242人、再診患者さん282人、アトピー性皮膚炎外来患者さん55人への調査(平成10年)によると、ステロイド外用剤(塗り薬)を使って良くなった人は、A群(調査した再診患者のうちステロイド外用薬をアトピーに使ったことのある人、及びアトピー性皮膚炎外来の患者)で104人(88.1%)と高い結果になりました。ただし、「医師からステロイド外用剤を薦められたら」の質問には「使ってもよい=53人/43.1%」「できれば使いたくない=44人/35.8%」「使いたくない=5人/4.1%」いました。その理由として、「副作用の悪いイメージ」が28人(22.8%)、「医師から十分な説明があり納得できれば」が24人(19.5%)、「実際に使用して効果あり」が24人(19.5%)でした。

なお、回答者全体では、女性の方が男性よりもステロイド外用薬の使用を望まない傾向があり、男性では年齢が若いほど望まない傾向があることがわかりました。

【出典：皮膚科外来患者におけるステロイド外用剤の意識調査】  
「第19回東京医科大学看護研究会」平成11年2月より

## ドクターとのコミュニケーション調査

### ----- 薬の塗り方指導とアドヒアランス(服薬遵守) -----

アトピー性皮膚炎で治療中の患者さんへのインターネット調査によると、実際に医師やスタッフから受けたと認識している説明については「具体的な塗り方(分量、回数など)=66%」「塗り薬そのものの役割、働き=65%」「塗り薬の強さやランク=54%」「保湿の重要性=37%」という結果でした。

また、実際に受けた塗り薬の説明については、計86%が口頭や実践など何らかの方法で説明を受けたと回答しました。そして、処方された塗り薬を担当医師の指示通りに塗っているかという質問には、「100%守っている」人が16%、「70%くらい守っている」人が48%、「50%くらい守ってる」人が28%となっていました。「100～70%

守っている方=64%」の人が、ある程度ドクターの指示を守っているようですが、「50%くらい守ってる=28%」と回答した方は、やはり「塗り忘れ?」があるということかもしれません。

【出典：「(株)ケアネット」平成24年  
「アトピー性皮膚病患者さんの治療意欲について」より

----- 精神的な悩みの相談 -----

通院履歴があり、ステロイド外用薬などの使用経験があるアトピー性皮膚炎発症経験者(過去発症者を含む)への調査によると、「症状の改善効果」の満足度は53.8%、「医師とのコミュニケーション」の満足度は39.7%となっていました。

実際に、「診察室で医師または自分が話している時間」は平均4.2分でした。反対に、診察時間に満足している患者さんは、最低5分以上(15%)となっていました。なお、アトピー性皮膚炎患者さんが、自宅を出てから診察を受けて自宅へ戻るまでの所要時間は平均116.4分。診察時間を引いても往復約2時間かけて通院している方が多い結果となっています。そして、4人に1人のアトピー性皮膚炎患者さんは、「症状による精神的な悩み」を医師に伝えられていないとのこと。内容は、「自分に自信が持てない=87.3%」、「恋愛・結婚への不安=86.4%」、「人と接するのが億劫=84%」、「経済的な不安=83%」、「辛さを他人に理解してもらえない=82.2%」、「完治しない事への不安=67.3%」、「見た目が気になる=65.5%」、「いつ症状が出るかびくびくしている=63.2%」などでした。

【出典：「サノフィ(株)」平成29年7月「アトピー性皮膚炎の身体的・精神的負担と医師とのコミュニケーションに関する患者調査」より

20代・30代女性患者さんの悩み調査

----- メイクやファッション -----

アトピー性皮膚炎で痒みなどの自覚症状が継続的にある20代・30代有職者女性へのインターネット調査によると、全体の90.6%が「無意識に患部を傷つける何らかの行動をとっている」とのこと。例えば、爪で搔く、こする、叩く、皮を剥くなど、症状の度合いに関わらず日常化している実態が伺えます。

また、有職者のアトピー患者さんが、通勤時や勤務中にアトピーが原因によって感じる不便さのトップは「メイクが薄い・できないことに対して気がひける=36.5%」と回答しています。社会人としての身だしなみである「メイク」や「ファッション」関連の悩みが不便さの要因として高くなっていました。

他に、「紙や書類を触ることで症状が悪化する=26.2%」、「職場の空調が気になるが言いだせない=23.6%」なども。特に症状が中度～重度の回答者については「勤務中に周囲の目が気になる」や「対面の仕事が辛い」など、対人関係のストレスを強く感じている傾向がありました。

- メイクが薄い・できないことで気が引ける(36.5%)
- 勤務中に周囲の目を気にしてしまう(34.5%)
- ファッションが限られることに気がひける(26.2%)
- 紙や書類を触ると症状が悪化する(26.2%)
- アトピーが原因で対面の仕事が辛い(26.2%)
- 職場の空調が気になるが言いだせない(23.6%)
- 通院のための休暇や早退に気が引ける(17.9%)
- 同僚や上司が症状を理解してくれていない(10%)
- 同僚や上司に、必要以上に心配され重い(8.6%)
- 職場での発言などに積極的になれない(7.1%)
- 希望職種につけない、会社がかかせない(5.1%)
- PCやOA機器を触ることで症状が悪化する(4.9%)

----- 恋愛・結婚感について -----

調査全体の60.5%の方が「恋愛や結婚に関して不便さや引け目を感じている」と回答しています。

- 自分に自信が持てない(50.2%)
- 相手に症状や辛さを理解してもらえない(35%)
- アトピーが原因で恋愛や結婚に対して臆病(27.3%)
- 必要以上に心配され意見を言われると煩わしい(21.7%)
- 相手に負担をかけないように無理をしてしまう(13.6%)
- 相手の両親・友人に対して引け目を感じる(13.2%)

また、子育て中の女性では「子どもがアトピー性皮膚炎にかかるのではと不安=85.9%」という悩みが顕著で、他にも「症状のために家事が十分にできない=27.1%」、「子どもに嫌な思いをさせるのではないかと不安=21.2%」という結果も見られました。

----- アトピー症状とストレス -----

アトピー由来のストレス自覚レベルとしては、全体の計37.1%が「アトピー症状がストレスになっている」と回答しています。しかし、症状が中度～重度の回答者の方の場合64.0%となっており、日常生活や人間関係の不便さがストレスとなっていると回答しています。

また、アトピーに関する悩みやストレスが解消できていると感じる相手は「家族=51%」がトップで、「医師・薬剤師=22.4%」「恋人・配偶者=21.7%」「友人=20.8%」「患者仲間=6.9%」「相談出来る仲間がない=19.4%」なっていました。患者さん同士や相談出来る仲間がないという回答率は、私共の努力不足を痛感する結果と言えるのかもしれません。

【出典：「(株)ネクスト」平成23年2月  
「20・30代働く女性のアトピー性皮膚炎に関する悩みレポート」より

協会への相談内容

----- 「効かない」「良くならない」「分からない」 -----

協会にも、メールや電話でのご相談が日々寄せられます。私共は医療従事者ではないため、治療やお薬に関してはコメントできる立場にありませんが、皆さんからの過去のご相談内容も参考にさせて頂きながら、日常生活で注意することや、ちょっとした工夫や考え方などをご回答させて頂いています。

お寄せ頂くご相談内容で最も多いのが、やはり「効かなくなった」「良くならない」「もう、どうしたらいいか分からない」というご相談です。

ゆっくりじっくりお話をお聞きすると、「外用薬の塗り忘れ」や「必要量が塗れていない」「酷くなった時だけ塗る」というケースが多いように思います。そして「病院・医院を紹介してほしい」というご相談が続きます。

お住まい近隣の皮膚科・小児科専門医先生をお探しするのですが、「遠方でもいいので名医を」「大学病院の先生を」とリクエストされる方もおられますが、アトピー性皮膚炎はご存じのとおり定期的な診察と治療、そして日々のスキンケアが欠かせません。通院がストレスになっては本末転倒。この辺りもご相談者にはアドバイスさせて頂いています。

そして、アトピっ子がおられるお母さん方からは、「子どもさんが食物アレルギー」というご相談も増えてきているように思います。夏前には「プール授業や日焼け」についてのご相談も増えてきます。また、「ステロイドを使わない小児科を教えてください」と懇願されることもありますが、時間をかけて丁寧にご説明し、遠方の方には、こちらからお電話を掛け直してお話しすることもしばしば。

また重篤な患者さんからのご相談では、症状悪化で会社を退職し社会保険喪失、国民健康保険にも金銭的に加入できず、必然的な脱ステロイド状態となって身体も起こせない。収入も無くなって、まさに心身共に身動きが取れない方からのご相談や「今から死にます」というご連絡も。その他にも、「アトピーでも出来る仕事」のご相談や、一方的な「ステロイド外用薬への辛辣なバッシング」と合わせて、私共への叱責を頂くこともあります。また、「面接で君アトピーと聞かれた」という方や「アトピーのために面接で落とされた」と悔しい思いを涙ながらにお話し下さるご相談者もおられます。

なかなか1度や2度のお電話で、スッキリ解決とはいきませんが、悩みや愚痴を少しでも吐き出してもらい、ちょっと明るいお声でお電話をお切り頂けるようにと願い努めています。

----- あまり力まず・あるがまま・焦らず・慌てず・諦めず! -----

多くの方のご意見やご苦勞が、自分には苦勞ではなかったり、「そのとおり」「やっぱりみんな同じ苦勞してるんだ!」と思われた調査結果もあったかもしれません。

今や、スマホでサクサク情報収集も出来ますし、患者さん同士で繋がることもできる時代ですが、「どれが本当か分からない」というご相談も頂いたりします。

ご経験通り、アトピーは明日身体からいなくなる疾病ではありません。「あまり力まず・あるがまま・焦らず・慌てず・諦めず!」そして「怪しいものにも近づかず」で、「肩の力を抜いて、深呼吸して、時には息抜きもして、面倒な日々のケアも侮らず!」で、日々お過ごし頂ければと願っております。

「ドクターには、ちょっと聞きにくいなあ～」「診察待ちの人が一杯で聞けない」などありましたら、協会もご利用下さい。お問い合わせ方法は、小紙1ページに記載しております。ご回答出来ない内容もあるかもしれませんが、スタッフ一同お待ちしております。

＊…… 1 い 1 い 1 ひ 2 ふ …… ＊  
 2018年度  
 『いい皮膚の日』

11月12日は、毎年恒例となっております「いい皮膚の日」です。全国各地で皮膚科専門医による講演会やイベントが開催されます。アトピー・アレルギーの演題ばかりではありませんが、参加は全て無料です。相談会なども開催される会場もありますのでご検討ください。尚、小紙が開催日を過ぎて到着となった場合はご容赦ください。  
 (日本臨床皮膚科医会「全国の皮膚の日行事」10月28日現在より)

「皮膚:その素晴らしい機能～365日、調子のいい肌のために～」  
 日 時 10月14日(日)13:00～16:30  
 会 場 日経ホール(大手町)  
 行事内容 プログラム  
 ・ご挨拶 日本臨床皮膚科医会  
 会長 若林 正治先生  
 ・演題1 「奥深い皮膚のかたちとはたらき」  
 慶應義塾大学 天谷 雅行先生  
 ・演題2 「皮膚を守る、正しいスキンケア」  
 小林皮膚科医院 小林 美咲先生  
 スキンケアデモ キュレル事業部  
 ・演題3 「痒みのしくみと尋麻疹」  
 東京女子医科大学 石黒 直子先生  
 ・総合討論

日 時: 10月20日(土)14:00～  
 会 場: 札幌プリンスホテル  
 行事内容: 市民公開講座  
 「新しい皮膚病の治療(仮)」  
 ① アトピー性皮膚炎  
 札幌医科大学 菅 裕司先生  
 ② 真菌症 北海道大学 羽賀 直哉先生  
 ③ 乾癬 札幌鉄道病院 伊藤 圭先生  
 ④ 皮膚癌 札幌医科大学 肥田 時征先生  
 ●無料医療相談会

日 時: 11月11日(日)14:00～  
 会 場: 大雪クリスタルホール  
 行事内容: 市民公開講座  
 ① 皮膚がんについて  
 旭川医科大学 上原 治朗先生  
 ② アトピー性皮膚炎の治療について  
 旭川医科大学 堀 仁子先生  
 ●無料医療相談会

日 時: 10月20日(土)14:00～  
 会 場: サンリフレ函館  
 行事内容: 市民公開講座  
 「足の裏のほくろについて」  
 北海道大学 秦 洋郎先生  
 ●市民無料相談会

日 時: 10月26日(金)  
 会 場: 未定  
 行事内容: 市民公開講座  
 未定 自治医科大学 大槻 マミ太郎先生

日 時: 10月28日(日)  
 会 場: 未定  
 行事内容: 講演会  
 未定 高木皮膚科診療所 高橋 英俊先生

日 時: 11月11日(日)14:00～16:00  
 会 場: 八戸市民館(公会堂文化ホール)会議室  
 行事内容: 市民公開講座  
 ① 円形脱毛症～どのような治療をするの?  
 五戸総合病院 小野 彩先生  
 ② 見直そう!あなたのスキンケア～年齢別に考える予防ケア～  
 しんクリニック産婦人科・皮膚科 小泉 裕子先生

日 時: 11月11日(日)13:00～16:00  
 会 場: アイーナ いわて県民情報交流センター  
 行事内容: ひふの日記念講演  
 「アトピー性皮膚炎について(仮)」  
 未定 岩手医科大学 天野 博雄先生  
 未定 岩手県立中央病院 森 康記先生  
 未定 岩手医科大学 赤坂 季代美先生

日 時: 10月20日(土)15:00～17:00  
 会 場: 秋田市文化会館 第7会議室  
 行事内容: 市民公開講座  
 「知っておきたい乾癬のこと」  
 ① 患者会と歩んだ乾癬治療  
 日本乾癬患者連合会 柴崎 弘之氏  
 ② アナタに伝えたい乾癬にまつわる都市伝説!!  
 札幌皮膚科クリニック 安部 正敏先生

日 時: 11月18日(日)14:00～16:00  
 会 場: 山形ビッグウイング  
 行事内容: 市民公開講座  
 「アトピー性皮膚炎について」  
 須藤皮膚科医院 須藤 一先生

日 時: 未定  
 会 場: 未定  
 行事内容: 未定

日 時: 未定  
 会 場: 未定  
 行事内容: 未定

日 時: 11月6日(火)  
 会 場: ホテルテラス・ザ・ガーデン水戸  
 行事内容: 特別講演  
 「アトピー性皮膚炎診療について～外用療法の新たな選択肢～」  
 長崎大学大学院 室田 浩之先生

日 時: 11月11日(日)  
 会 場: 駿優教育会館2階  
 行事内容: 市民公開講座  
 ●「皮膚がんについて知ろう!!」  
 埼玉医科大学 柳澤 宏人先生

日 時: 11月11日(日)13:00～15:30  
 会 場: 宇都宮市保健センター ララスクエア宇都宮  
 行事内容: 市民公開講座  
 「膠原病の皮膚病変」  
 獨協医科大学 濱崎 洋一郎先生  
 ●「皮膚の健康」無料相談会

日 時: 11月11日(日)14:00～15:00  
 会 場: 群馬ロイヤルホテル 本館2階まゆだま  
 行事内容: 市民公開講座  
 「抜け毛の悩み～毛髪を理解と脱毛症について～」  
 群馬大学附属病院 清水 晶先生

日 時: 11月10日(土)  
 会 場: 新潟ランドホテル  
 行事内容: 講演会  
 「演題未定」  
 群馬大学 安田 正人先生

日 時: 11月10日(土)  
 会 場: 新潟ランドホテル  
 行事内容: 講演会  
 「演題未定」  
 群馬大学 安田 正人先生

日 時: 11月11日(日)15:00～16:00  
 会 場: 松本市商工会議所  
 行事内容: 講演会  
 「アトピー性皮膚炎」  
 信州大学 小川 英作先生

日 時: 11月11日(日)13:00～14:00  
 会 場: なし(都内にてコンテンツ収録)  
 行事内容: Webライブセミナー

日 時: 11月11日(日)12:00～14:00  
 会 場: 市民会館うらわ  
 行事内容: 公開市民講座  
 「うつる病気のウソ、ホント、正しく知ってスキンケア」  
 ① 水虫(爪白癬、足白癬)について～治療と予防はどうしたら良いの?～  
 比留間皮膚科耳鼻科医院 比留間 政太郎先生  
 ② いぼってうつるの?～たこや魚の目の違いは～  
 自治医科大学附属さいたま医療センター 川瀬 正昭先生  
 ●お肌のトラブル相談  
 ●スキンケア製品展示・紹介

日 時: 10月28日(日)13:00～15:00  
 会 場: ヘリエホール  
 行事内容: 公開講座  
 「白癬症について」  
 帝京大学千葉総合医療センター 佐藤 友隆先生

日 時: 11月3日(土)13:00～15:30  
 会 場: 横浜情報文化センター 情文ホール  
 行事内容: 講演会  
 「身近なウイルス感染症」  
 東京慈恵会医科大学 石地 尚興先生  
 まりこの皮フ科 本田 まりこ先生  
 浅井皮膚科クリニック 浅井 俊弥先生  
 ●Q&Aコーナー  
 ●お肌のトラブル相談コーナー  
 ●無料肌年齢測定コーナー  
 ●スキンケア製品展示・紹介・配布コーナー

日 時: 11月11日(日)14:00～15:00  
 会 場: 山梨県医師会館講堂  
 行事内容: 市民公開講座  
 「演題・演者 未定」

日 時: 11月10日(土)  
 会 場: プラサヴェルデ 3階  
 行事内容: 市民公開講座 13:30～14:30  
 「もう悩まない、水虫のお話」  
 富士市立中央病院 津嶋 友央先生  
 ●皮膚病無料相談 14:30～16:00

日 時: 11月11日(日)14:00～15:30  
 会 場: 富山県立中央病院 5階ホール  
 行事内容: 講演会  
 ① 漢方治療と皮膚病  
 済生会高岡病院 豊本 貴嗣先生  
 ② アトピー性皮膚炎の治療～基本から最新治療まで～  
 富山大学大学院医学薬学研究所 牧野 輝彦先生

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

日 時: 11月4日(日)13:00～16:00  
 会 場: ホテル金沢  
 行事内容: 講演会  
 ① 皮膚がんについて  
 演者未定  
 ② 乾癬について  
 演者未定  
 ③ アトピー性皮膚炎について  
 演者未定

**福井県**  
日 時: 11月11日(日)14:00~16:00  
会 場: Lpaホール  
行事内容: 県民公開講座  
● 無料相談会

**問 石黒皮膚科クリニック ☎0776-51-6700** \*

**岐阜県**  
日 時: 11月4日(日)13:30~15:00  
会 場: 岐阜大学サテライトキャンパス  
行事内容: 講演会  
① 皮膚がんあれこれ~最新治療まで  
岐阜大学医学部附属病院 松山 かなこ先生  
② 皮膚と腸のネットワーク  
一病気になる生活環境と食事を巡る話題提供  
八幡病院 前田 学先生

**問 岐阜大学大学院医学系研究科皮膚病態学 ☎058-230-6391** \*

**愛知県**  
日 時: 11月4日(日)10:00~16:00  
会 場: 愛知県医師会館 8-9階  
行事内容: 講演会  
「未定」  
愛知医科大学 大嶋 雄一郎先生  
● 皮膚科専門医による皮膚疾患の無料健康相談  
● 花王(株)による肌解析とスキンケアアドバイス

**問 渡辺皮膚科クリニック ☎052-892-4141** \*

**三重県**  
日 時: 11月18日(日)13:00~14:30  
会 場: 伊勢赤十字病院 1階山田ホール  
行事内容: 講演会  
① アトピー性皮膚炎の基礎と最近の治療  
市立伊勢総合病院 西井 正美先生  
② 知っておきたい中高年の皮膚がん~早期発見のポイント  
伊勢赤十字病院 中村 保夫先生

**問 しまヒフ科クリニック ☎059-369-3636** \*

**滋賀県**  
日 時: 11月11日(日)  
会 場: ピアザ淡海  
行事内容: 講演会  
「アザの治療」  
藤井皮膚科クリニック 藤井 紀和先生

**問 なかにし皮膚科クリニック ☎077-583-4112** \*

**京都府**  
日 時: 11月11日(日)13:30~15:40  
会 場: 京都府立医科大学付属図書館 図書館ホール  
行事内容: 講演会 「もっと知りたい皮膚のこと」  
① 皮膚が語るあなたの健康~皮膚は内臓の鏡です~  
医仁会武田総合病院 松井 美晴先生  
② 進歩する皮膚科治療~アトピー性皮膚炎、じん麻疹、乾癬など~  
京都医療センター 十一 英子先生  
● 皮膚の病気の相談タイム 14:40~15:40  
● 皮膚科専門医による無料相談コーナー

**問 京都皮膚科医会 ☎075-354-6105** \*

**大阪府**  
日 時: 11月11日(日)  
会 場: 毎日新聞社 オーバルホール  
行事内容: 講演会  
① そのできものは大丈夫?~皮膚の癌と良性腫瘍について~  
国立病院機構大阪医療センター 小澤 健太郎先生  
② たかが爪、されど爪。QOLを低下させる爪の病気の数々  
東皮フ科医院 東 禹彦先生

**問 大阪皮膚科医会事務局 ☎06-6453-3651** \*

**兵庫県**  
日 時: 11月10日(土)15:00~17:00  
会 場: 神戸国際会館セミナーハウス 8階  
行事内容: 市民公開講座  
① じんましの最新知見  
神戸大学 福永 淳先生  
② 気をつけたい顔のシミと皮膚がん  
神戸市立医療センター中央市民病院 長野 徹先生

**問 鶴皮膚科医院 ☎078-591-6031** \*

**奈良県**  
日 時: 11月17日(土)14:30~16:30  
会 場: 学園前ホール(奈良市西部会館3階)  
行事内容: 講演会  
「皮膚科専門医直伝上手なスキンケアのコツ  
~アトピー、ニキビからアンチエイジングまで」  
ほおのき皮膚科 朴木 久美子先生  
● 皮膚科なんでも無料相談会

**問 山脇皮膚科 ☎0742-22-2244** \*

**和歌山県**  
日 時: 10月21日(日)  
会 場: ビック愛 医師会大会議室  
行事内容: 講演会 13:00~14:00  
「アトピー性皮膚炎」  
滋野医院 滋野 広先生  
● 皮膚ガン無料相談

**問 晒医院 ☎0739-22-0169** \*

**鳥取県**  
日 時: 11月15日(木)14:00~  
会 場: 米子市文化ホール 多目的ホール  
行事内容: 公開健康講座  
「生活習慣と皮膚病のおはなし」  
鳥取大学医学部附属病院 杉田 和成先生

**問 わたなべ皮膚科 ☎0859-21-8612** \*

**島根県**  
日 時: 10月18日(木)19:00~20:30  
会 場: あすてらす 3階研修室1  
行事内容: 講演会  
「皮膚科医からの提案-見逃してはならない感染症」  
高垣皮膚科クリニック 高垣 謙二先生

日 時: 11月1日(木)14:30~15:30  
会 場: 出雲市駅ナカ赤ちゃんルーム  
行事内容: 出張セミナー  
「乳幼児のスキンケア~正しい洗ひ方、皮膚との付き合い方」  
山田皮膚科医院 山田 義貴先生

**問 福代皮膚科 ☎0853-22-0125** \*

**岡山県**  
日 時: 11月23日(金)  
会 場: 岡山県医師会館 三木記念ホール  
行事内容: 講演会  
「これだけは知っておきたい、  
子どもからお年寄りのアトピー性皮膚炎」  
川崎医科大学 青山 裕美先生  
● 皮膚病無料検診

**問 服部皮膚科アレルギー科 ☎086-254-2323** \*

**広島県**  
日 時: 11月18日(日)9:00~11:30  
会 場: 広島市健康づくりセンター  
行事内容: 皮膚科無料相談会  
日 時: 11月18日(日)10:00~11:00  
会 場: 広島市健康づくりセンター 健康科学館  
行事内容: 皮膚の健康教室

**問 しんどう皮膚科アレルギー科 ☎082-510-1322** \*

**徳島県**  
日 時: 11月4日(日)14:00~15:00  
会 場: ふれあい健康館 2階小ホール  
行事内容: 市民公開講座  
「未定」  
徳島市民病院 野田 利紀先生  
司会 宇都宮皮膚科泌尿器科 宇都宮 正裕先生

**問 あなん皮膚科クリニック ☎0884-24-3677** \*

**香川県**  
日 時: 11月18日(日)14:00~16:00  
会 場: 丸亀町レッツホール  
行事内容: 皮膚がん無料相談

**問 森岡皮膚科医院 ☎087-834-1011** \*

**愛媛県**  
日 時: 11月4日(日)13:00~17:00  
会 場: 松山三越  
行事内容: 講演会  
「アトピー性皮膚炎~新しい展開」  
愛媛大学 佐山 浩二先生  
● ほくろ相談会  
● 薄毛、爪相談会

日 時: 11月11日(日)  
会 場: 新居浜医師会  
行事内容: ホクロ相談会

**問 愛媛県医師会 ☎089-943-7582** \*

**高知県**  
日 時: 10月27日(土)14:00~16:00  
会 場: 総合あしんセンター 3階大会議室  
行事内容: 講演会 14:00~15:00  
「皮膚疾患とステロイド節約型外用療法について」  
香川大学 窪田 泰夫先生  
● 無料相談会 15:00~16:00  
皮膚病一般(美容皮膚科も含む)、  
お肌の診断(資生堂協賛)、毛髪相談(富士産業協賛)

**問 桑名皮膚科 ☎088-820-5830** \*

**福岡県**  
日 時: 11月4日(日)  
会 場: アクロス福岡  
行事内容: 市民公開講座  
「乾燥について」  
琉球大学 宮城 拓也先生

**問 日野皮膚科医院 ☎0940-43-5521**

日 時: 11月4日(日)  
会 場: 久留米シティプラザ 4階会議室  
行事内容: 未定

**問 久留米大学医学部皮膚科教室 ☎0942-31-7571** \*

**佐賀県**  
日 時: 11月25日(日)14:00~15:00  
会 場: 佐賀市文化会館 3階大会議室  
行事内容: 市民公開講座  
「~みずいぼ、いぼ、とびひ、など  
~子どもの皮膚感染症についてかかえてみよう!」  
こば皮膚科クリニック 古場 慎一先生

**問 凌皮膚科医院 ☎0952-23-3226** \*

**長崎県**  
日 時: 11月17日(土)15:00~16:00  
会 場: 長崎県医師会館  
行事内容: 市民公開講座  
「日常生活の中で出会う「かぶれ」について」  
東邦大学医療センター大森病院 関東 裕美先生

**問 おがわ皮膚科アレルギー科 ☎095-830-1112** \*

**熊本県**  
日 時: 10月28日(日)10:30~11:40  
会 場: 熊本市国際交流会館  
行事内容: 市民公開講座  
「これから増える帯状疱疹~その傾向と対策~」  
日本赤十字社長崎原爆病院 宿輪 哲生先生

**問 よう皮膚科医院 ☎0996-63-1112** \*

**大分県**  
日 時: 未定  
会 場: 未定  
行事内容: 未定

**問** \*

**宮崎県**  
日 時: 10月28日(日)14:00~15:30  
会 場: 宮日会館 11階ホール  
行事内容: 講演会  
「癌から身を守るためいろいろな発癌原因を知っておこう  
予防に勝る治療なし」  
青木皮膚科 出盛 允啓先生  
● 院内掲示用ポスター作製  
「自然消滅する皮膚病」

**問 ならはら皮膚科医院 ☎0986-22-1455** \*

**鹿児島県**  
日 時: 11月18日(日)13:00~15:15  
会 場: 未定  
行事内容: 講演会  
イントロダクション: 紫外線の皮膚への影響  
~老化と皮膚がん~  
ひふ科形成外科西クリニック 西 正行先生  
① 皮膚がん~紫外線による皮膚がんを中心に~  
鹿児島医療センター 松下 茂人先生  
② 紫外線についての正しい知識とその対策  
島田ひふ科 島田 辰彦先生

**問 ひふ科形成外科西クリニック ☎0995-67-2412** \*

**沖縄県**  
日 時: 11月18日(日)13:30~15:30  
会 場: 国立劇場おきなわ小劇場  
行事内容: 講演会  
「演題演者 未定」

**問 那覇かなぐすく皮膚科 ☎098-857-1112** \*



フリーアナウンサー 関根 友実

10年ぶりに、アトピー性皮膚炎の新しい治療薬が発売されました。中等度から重度の成人患者が対象となるといいです。デュピルマブという一般名のお薬で、飲み薬でもなく塗り薬でもなく注射を月に二回で、アトピー性皮膚炎の原因となる抗体反応をターゲットにして、炎症反応を緩和するといいます。かゆみが抑えられるので、皮膚のバリアを壊すという悪循環を断つことができるということ。臨床実験では、

約7割の患者に効果が見られたとか。しかも、新薬によって喘息も改善する可能性があるといえます。もちろん現在治療中の患者は急に治療を中断することが危険であることには変わりないでしょうが、様々な部位にアレルギー症状が出ている患者にとっては、不安よりも希望の方が大きく、久しぶりにワクワクしています。アトピー性皮膚炎が重症化してしまうと、日常生活に大きな影響を及ぼします。痒みで集中できなくなったり、外見が気になってしまい仕事に行けなくなったり、睡眠不足になってしまい、何もやる気が起きず、学業に影響が出てしまうことも多いです。そういった方々の症状が、新薬の治療によって少しでも改善することを願っています。ただし、医療保険が適用されるとはいえ、薬価は非常に高いので、そこが苦しいところです。

私はアトピー性皮膚炎のほかに、アレルギー性気管支喘息、アレルギー性副鼻腔炎、アレルギー性結膜炎、食物アレルギーなど、様々なアレルギー疾患を持っています。皮膚科で処方される薬が今まで一番負担が重かったのですが、最近、眼科の薬の負担が増してしまいました。目の症状が重いので、ステロイドの点眼薬が処方されていたのですが、副作用で眼圧が上がってしまったために使えなくなり、代替としてパピロック(一般名・シクロスポリン)という免疫抑制作用のある点眼薬に変更となりました。このパピロック、一本使い切りの点眼薬なのですが、かなりお高い。開発や治験など大変な時間とコストがかかっていることや、希少疾病対象なのでどうしても薬価が高くなるのだとは十分に理解しつつも、財布にも心にも打撃が大きいです。様々なお薬があり、有効な治療法を発見してもらっているからこそ、生かされているのだと思っていますし、3割負担という日本の医療保険制度には感謝の気持ちでいっぱいです。しかしながら、先の見えない慢性疾患を抱える身としては、新薬のニュースに胸ときめかせつつも、お薬代に一喜一憂してしまうのが正直な気持ちです。

**プロフィール** 元朝日放送アナウンサー。女性初の全国高校野球選手権大会の実況を行う。現在は臨床心理士として心療内科に勤務。フリーアナウンサーとしてもテレビ・ラジオで活躍中。アトピー性皮膚炎・アトピー白内障・アレルギー性副鼻腔炎・アレルギー性気管支喘息・蕁麻疹など、幼少期より様々なアレルギー疾患を経験。現在も家庭と子育て、仕事、自らのアレルギーに奮闘中。

**花粉・ウイルス飛沫をブロック**

フタロシアン加工不織布が、花粉等のアレル物質を吸着防御します。さらに高い消臭効果があるため、マスクに臭いが残りません。

フタロシアン加工不織布

花粉

ウイルス含有飛沫

PM2.5

PP不織布

防御

メルトプロ-不織布

4層構造イメージ図

日本アトピー協会 推薦品

品質保証

日本アトピー協会 会員

**アレルキャッチャー マスク** 安心の日本製

●商品に関する詳しい情報は・・・ **ダイワホウノイ株式会社 TEL.03-4332-8228**  
<http://www.allercatcher.com> アレルキャッチャー 後発

送達ご希望の方はご連絡ください。 書面・メールにて受付中

日本アトピー協会通信紙 **あとぴいなう**

通信紙「あとぴいなう」は積極的な治療への取り組みと自助努力を促すことを趣旨とし多くの患者さんに読んでいただきたく無料でお届けしております。ご希望の方はお届け先・お名前・電話番号やメルアドなどをお知らせください。患者さん・医療従事者の方に限定しておりますが一般の方もご希望でしたらご連絡ください。スクリーニングの結果、お届け出来ない場合もありその節はご容赦ください。なお協会ホームページからもお申し込みいただけます。

次号発行予定 **1月12日**

〒541-0045  
 大阪市中央区道修町1-1-7日精産業ビル4階  
 電話 06-6204-0002 FAX.06-6204-0052  
 E-Mail [jadpa@wing.ocn.ne.jp](mailto:jadpa@wing.ocn.ne.jp)  
 Home Page <http://www.nihonatomy.join-us.jp/>

**支援活動報告 第2報 北海道胆振東部地震 震災支援のご報告**

平成30年9月6日3時7分、北海道胆振(いぶり)地方中東部を震源としたマグニチュード6.7の地震が発生。

私たちが経験した阪神淡路大震災や熊本地震規模の大震災。現地では交通網が寸断され、断水や液状化現象、家が傾き、道路の陥没や隆起をテレビニュースで見て、23年前、阪神高速道路の高架橋がいつ倒れるか分からない恐怖や至る所からの火柱と黒煙が上がる映像に、現実とは思えず身体と心が恐怖に震えたことが蘇りました。

消防庁発表によると、2町39世帯61人に避難指示(緊急)、2町20世帯37人に避難勧告が出されており、いまだ避難所12箇所に458人の方が避難所生活を送られています。(10月5日現在)

協会では、前号でご報告しました平成30年7月豪雨(西日本豪雨)の支援活動を行っている最中で、今度は、北海道ということもあり一層情報収集が困難な状況でしたが、西日本豪雨被災のご支援を行いながら情報収集を行い、ネットやツイッターにて、北海道への支援告知を行いました。

今回も、「LFA食物アレルギーと共に生きる会」様と情報共有させて頂き、9月12日、現地の保健師様からの支援要請が届きました。食物アレルギー児への除去食対応に加え、アトピー患者さんへの必要

な日用品の配布など、個別対応のご尽力を頂けるのとことで、9月13日、協会からはアトピー患者さんが必要な日用品をお送りしました。

そして、今度は最も被害が大きかった厚真町災害対策本部救護部 救護班様より支援要請を頂き、アレルギー物資支援として9月20日に第二便、また、タオルや肌着等の第三便もお送りしました。厚真町災害対策本部救護部 救護班では、現在(10/17現在)も、日用品の様々な物資支援要請をされています。皆様のご支援を宜しくお願い致します。

<http://www.town.atsuma.lg.jp/office/news/emergency/14610/>

尚、支援物資の要請は日々変化しますので、上記アドレスより、最新の情報を入手されますようお願い致します。

また、協会ホームページでは、現在も西日本豪雨被災、北海道胆振東部地震にて被害に遭われた皆様のご支援を継続しております。大きなご支援は出来ませんが、現地に日常に戻るまで、息の長いご支援が出来ればと願っております。

最後になりましたが、私共の支援活動に対し、支援物資のご提供を賜りました私共法人賛助企業様に対し、紙面からではございますが、心より深謝申し上げます。

内野株式会社・シャボン玉石けん株式会社・大衛株式会社



9月13日 アトピー患者さん日用品の支援物資



バスタオル・フェイスタオルの出荷(ご提供 内野株式会社)



9月20日 厚真町災害対策本部救護部様への支援物資



現在も協会HPにて継続中の個別支援物資

## 恒例! 秋のリクレーションに行ってきました!



10月21日、恒例となりました秋のリクレーションに協会患者会員さんとご一緒に参りました。昨年は、季節はずれの台風により急遽中止となり、今年改めて鳴門の渦潮に向きました。今年も北浜に集合頂き、大型バスに乗り込んでいざ出発。

車内では、皆さんの近況をお聞きしたり、ご相談をお受けしたりと2時間30分の道程も知らぬ間に、明石海峡大橋から淡路島を縦断、大鳴門橋を渡り鳴門公園に到着していました。

徳島よりご参加の方も現地合流し、まずは渦の道観光へ。

今渡ってきた大鳴門橋の道路下にあたる部分となる遊歩道「渦の道」は、長さ450m、渦上45mの高さ。何度となく設置されたガラス床部分から見下ろす渦潮に足が竦みます。

450m先にある展望室では瀬戸内海の雄大な景色に心が洗われました。遊歩道を戻り、今度は観潮船に乗り船上からの渦潮観光。秋は季節外れでもあって、大きな渦潮ではありませんでしたが、好天に恵まれ潮風が皆さんに笑顔をもたらしてくれたようでした。そして瀬戸内海といえば新鮮なお魚ということで、鳴門グランドホテル様にて「鯛しゃぶ御膳」を皆さんで頂きました。ワイワイがやがや楽しいお昼となりましたが、遅目の昼食となったこともあって、どうも皆さん物足りない様子。ホテルにお願いし「鯛しゃぶの追加」まで頂き、ちょっと贅沢なお昼ごはんとなりました。その後しばらく皆さんと談笑し、帰路に着きました。帰路の途中、淡路島ハイウェイオアシスにてお土産タイム。場内には蛇口をひねると無料の玉ねぎスープが頂けて舌鼓。瀬戸内海のお土産物や淡路島の玉ねぎ、淡路牛のハンバーグなどなど、様々にお土産を買い込み、皆さんと楽しい1日を過ごして参りました。



## 大阪府立羽曳野支援学校様へのご寄贈報告



10月27日(土)大阪府立羽曳野支援学校様に、今回で3回目となりますご寄贈品をお届けして参りました。

当日、同校で開催されました「平成30年度学習発表会・作品展」にお招き頂き、誠に僣越ながら壇上にて入院加療中の生徒さん代表にご寄贈品目録をお渡し、「感謝状」を頂戴して参りました。

同校は、隣接する大阪府立はびきの医療センターに入院加療中の小・高校の生徒さんが通学される学校です。

長期入院はもちろん、2~3週間の入院でも学業の遅れは否めません。同校は、病院の医師・看護師・管理栄養士、そして学校教諭が連携をとり、治療と学業を両立する国内でも数少ない施設と聞き及んでおります。

ご寄贈品は、羽曳野支援学校本校と南大阪地域の6つの分教室にご在籍の教諭先生方にリストアップして頂き、参考書や体育授業用の用具、楽器や理科実験用具、美術用具など、様々な品物をお贈りさせて頂きました。

同校の学習発表会は、日々、練習を重ねていても退院が優先され、演奏などでは楽器パートが居なくなるなど、教諭先生方も裏方として大変なご苦労があることもお聞きしました。学習発表会では、入院中の患者さんとは思えない笑顔と元気一杯の発表を拝見し、「病気にめげない!」ことの大切さを改めて感じました。同校の校章「四葉のクローバー」のように、子どもさん達に「幸せが訪れる」ことを祈り、少しでもお役に立てればと願っております。



## 法人賛助会員様ご紹介 第46回

敬称略

協会は多くの法人賛助会員様の年会費によって会務を行っており、本紙面を通じまして日頃お世話になっております法人様を順次ご紹介しております。関係各位にコメントをお願いしておりますので、ぜひ患者さんへの一言をお願い致します。

### ピーアンドピーエフ株式会社

平成27年 ご入会

- ◆ 所在地 〒567-0023 大阪府茨木市西河原2-21-22
- ◆ 電話 072-624-8671
- ◆ 業種・取扱商品 透明固型石鹸および化粧品品の製造・販売
- ◆ 関連商品 敏感肌・乾燥肌用の低刺激シリーズ
- ◆ 一言

入浴タイムのセルフケアをコンセプトにしたスキンケアをご提供しております。①植物系原料と食品添加物原料98%の全身用弱酸性洗剤。やわらかな泡がお肌や髪を包み込み、汚れをおだやかに落とし、しっかりと洗い上げます。②天然植物由来原料99%のボディークリーム。お湯に溶かしてかけるだけの簡単ケアで潤いバブルがお肌をしっかりと包みます。皆様のQOL向上を目指し、今後も魅力的な商品開発に取り組んで参ります。

### 村信株式会社

平成27年 ご入会

- ◆ 所在地 〒595-0015 大阪府泉大津市二田町3丁目5-35
- ◆ 電話 0725-32-6205
- ◆ 業種・取扱商品 ベビー肌着メーカー
- ◆ 関連商品 「ラ・モルフェ」ベビー・子供服シリーズ
- ◆ 一言

弊社はベビー用肌着と70年間向き合ってきた経験を活かし生地調達(ラモルフェ・天然100%コットン等)・縫製(フラットシーマ・縫い目が肌にあたらない外縫い縫製等)・検品までを、すべて国内で行い、安全で優しい商品づくりを目指し日々精進致しております。私たちの経験と技術を皆様の商品開発に役立てられれば、こんなに嬉しい事はございません。